

# ユース育成担当者会議

技術委員会 ユース育成部会

2017/09/03

- 「強化育成組織のあり方」
- 「育成センターの実施」
- 「リーグ戦文化の導入」

# 世界に通用するバスケットボール

強化

世界基準を日常に取り入れる

世界を目指す環境

世界を視野に入れた指導を日常から行う



# 国内で活気あるバスケットボール

普及

バスケットボール愛好者を増やす  
バスケットボールを楽しめる！上手になる！  
日本代表が強い！応援する！



いつかやらなければならないことであるならば

私たちの世代でやろうではないか

煉瓦を積むようにして土台を作る  
その大きな土台に  
最後の一個を代表が載せる

土台を作るのは  
育成世代に関わる指導者たち

選手たちは将来大きく成長する  
素地を持つことができる



## 【課題】

- 日本の**指導方針が見えない**
- 育成が不十分
  - トーナメント文化で試合数少**
  - 成長が大きくない
  - 能力別に発揮する場**が不足
  - Bリーグユース（男子）**の設置
  - 大会が育成方針に合っていない
- 発掘の道筋が分かりにくい
- 育成世代での**勝利至上主義**
  - 成長に適した指導ではない
  - 指導者教育が不十分



## 【解決策】

- 指導内容の明確化と周知**
  - ジャパンプズウェイの反映
  - 習熟度別指導方針作成
  - 周知方法論（HP・講習会）
- 育成センターの創設**
  - 個の育成、飛び級
  - 発掘システムとしての充実
  - JBA方針伝達、指導者教育
- リーグ戦文化の構築**
- 大会の環境整備**
  - 育成方針を反映した大会

## 【旧体制】

強化

Jrオールスター男子・女子

国体少年男子・女子

国体成年男子・女子

指導者育成

ライセンス管理

ライセンス講習会

ユース育成

県エンデバー実施

地区エンデバー実施

高体連

インターハイ予選実施

ウインターカップ予選実施

中体連

全中予選実施

新人戦実施

ミニ連

全国ミニ予選実施



# 旧体制図と新体制図

## 【旧体制】

強化

Jrオールスター男子・女子

国体少年男子・女子

国体成年男子・女子

指導者育成

ライセンス管理

ライセンス講習会

ユース育成

県エンデバー実施

地区エンデバー実施

高体連

インターハイ予選実施

ウインターカップ予選実施

中体連

全中予選実施

新人戦実施

ミニ連

全国ミニ予選実施

## 【新体制】

強化→国体

国体成年男子・女子

指導者育成

ライセンス管理

ライセンス講習会

ユース育成

育成センター  
(DevelopmentCenter)

県DC実施

地区DC実施

国体少年男女

U12/U15/U18  
アンダーカテゴリー  
部会

リーグ戦運営

U12/U15/U18

大会運営

ウインターカップ予選実施

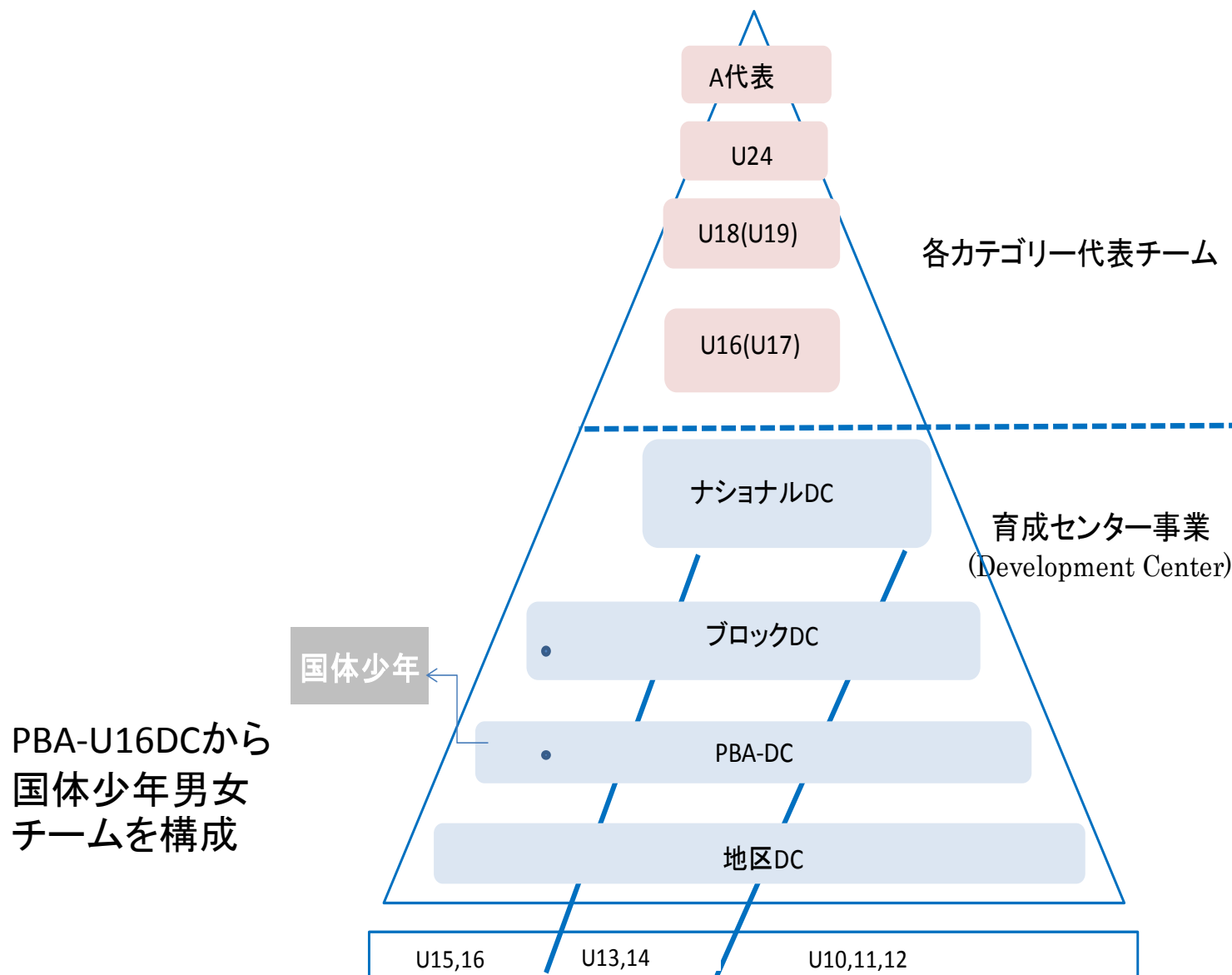
Jrウインターカップ予選実施

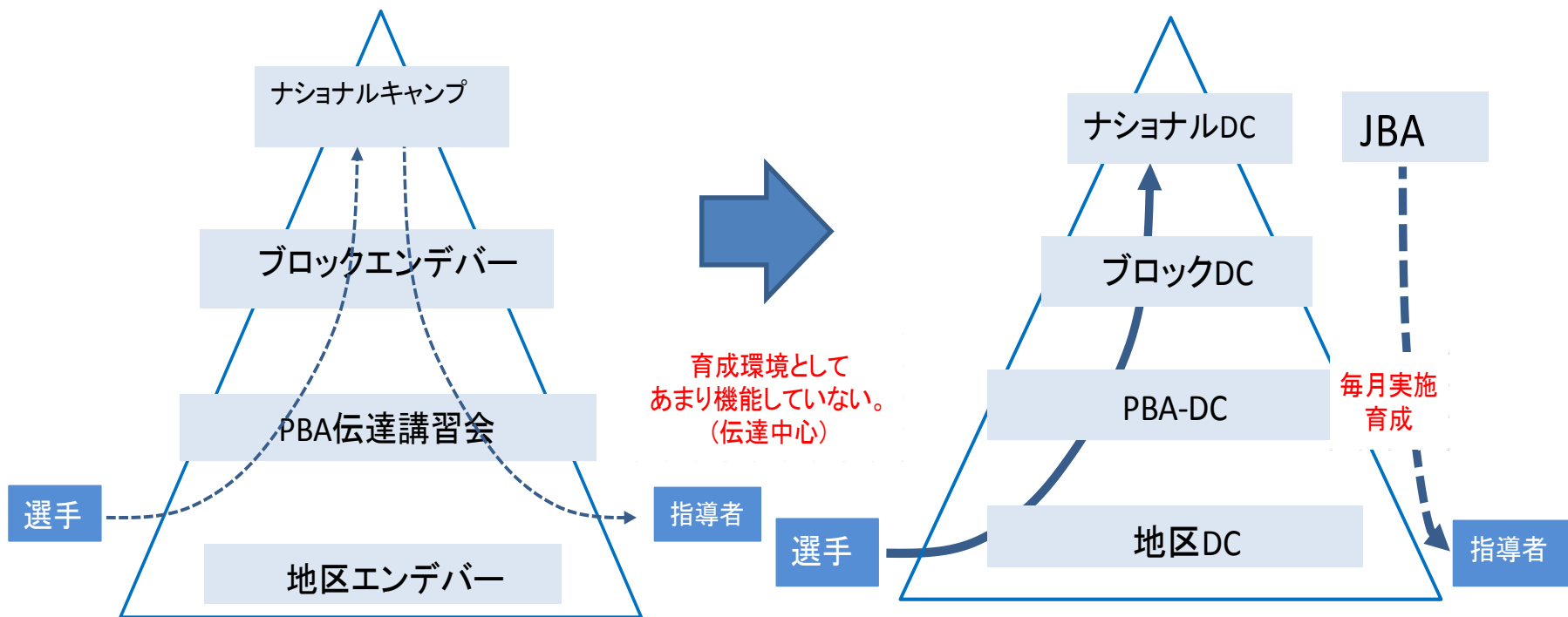
全国ミニ予選実施

# 育成センター事業 (Development Center= DC)

- 質の高い競争(育成)・・・個の育成  
最低でも2年カテゴリー U12/U14/U16
  - 情報伝達(指導者教育)  
ジャパンスウェイ、育成世代コーチング
  - 能力に応じた競争(発掘)  
天井効果排除
- ※地区⇒県⇒ブロック⇒ナショナルに繋がる発掘  
(アスリートパスウェイ)

## II 育成センターの構造





- ナショナル育成キャンプーブロックエンデバーー都道府県エンデバーー地区エンデバーの統合
- 都道府県・地区における育成環境整備

- 2018年度準備年度  
-実施可能なところは実施
- 2019年度完全実施を目指す



## 都道府県育成センターとしての 全国的イベント

- U12U14の育成センター全国イベントの是非については今後検討
- PBA-U16DC活動を都道府県の国体少年男女チーム活動と連動させる。



# 1. 主催団体と担当

- ① 都道府県協会主催事業であること
- ② 都道府県協会ユース育成担当者が中心となって事業を進めること

# 2. 活動の構造

- ・ 地区（市区町村）単位と都道府県単位が存在し連携した活動（ピラミッド構造）になっていること（都道府県単位のみでの単発的な活動は対象外）

### 3. 選手対象年齢

#### ①16歳以下の選手を対象とした事業であること

※2018年度に限り、18歳以下も認める。

2019年度以降は16歳以下のみ対象となる。

#### ②1年（1歳）単位のカテゴリーを設定することが望ましい

最低でもU12U14U16の2年ごとのカテゴリーを設定する。

#### ③年齢は1月1日付の年齢を基準とする

ただし、運用として4月1日付の年齢（学校における学年）を基準とすることも認める。

※ 優秀な選手の場合、上のカテゴリーで活動することは妨げない。  
(飛び級を可とする。)

# 1. 設定単位 (カテゴリーと区分)

## ■ U12U14U16を設定した場合

U16				国体 少年男女
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
U14				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
U12				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	

※ 地区数は都道府県により異なる。

## ■ U11~U16を設定した場合

<b>U16</b>				<b>国体 少年男女</b>
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
<b>U15</b>				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
<b>U14</b>				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
<b>U13</b>				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
<b>U12</b>				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
<b>U11</b>				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	

※ 地区数は都道府県により異なる。

## 2. 年間日程

■ 年間活動計画（育成計画）に基づき実施する

① 月1回以上計画

② 年間10回以上計画

## ■ 2017N県年間実施計画

	U11		U12		U13		U14		JAS	U16		少年男女 国体	
	4地区	県	4地区	県	4地区	県	4地区	県		4地区	県		
4	Coach 研修会											2018, U-18	
	Tryout(推薦+公募)		Tryout(U11推薦+公募)		Tryout(U12推薦+中学推薦+公募)		Tryout(U13推薦+中学推薦+公募)			Tryout(U14推薦+中学推薦+公募)			
5	練習会(1回)		練習会(1回)	U12北信越BE	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)					
6	練習会(1回)		練習会(1回)		練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)					
7	練習会(1回)		練習会(1回)		練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)				国体Team活動	
8	4地区+BWU11対抗戦		4地区+BWU12対抗戦		4地区+県選抜+BWU13対抗戦 選手入替等		4地区+県選抜+BWU14対抗戦 選手入替等			2016,U-16 + Test Match 選手選考・入替等		国体Team活動	
9	練習会(1回)		練習会(1回)		練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)		練習会(1回)		国体Team活動	
10	練習会(1回)		練習会(1回)		練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)		練習会(1回)		国体Team活動	
11					練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)		練習会(1回)			
12	4地区+BWU11対抗戦		4地区+BWU12対抗戦		4地区+県選抜+BWU13対抗戦		4地区+県選抜+BWU13対抗戦			練習会(1回)			
1	練習会(1回)	練習会	練習会(1回)	練習会	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)		JAS・Team結成				
2	練習会(1回)	北信越交歓会	練習会(1回)	北信越交歓会 練習会(1回)		北信越交歓会	練習会(1回)		JAS活動				
3	練習会(1回)		練習会(1回)		練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)		JAS活動				

### 3. 単位(カテゴリーと区分)別日程

#### ①毎月第4土曜日(仮)の設定

育成センターの日程が優先されるようなスケジュールの構築

#### ②1回あたりの練習時間

3時間以内

#### ③場所

体育館調整(単位ごとに決定する。)



## ■ 2017N県単位別実施計画

NO	県or地区	カテゴリー	男女	月	日時	場所	備考
例	県	U13	男	4	2017/4/23 9:00-12:00	松本市総合体育館	
1	全県	ALL	男女	4	2017/4/1 13:00-18:00	松本筑摩高校体育館	コーチ研修会
-	県	U14	男子	4	-	-	
2	県	U14	男子	5	2017/5/7 8:30-12:30	東北中学校(長野市)	
3	県	U14	男子	6	2017/6/10 8:30-12:30	東北中学校(長野市)	
4	県	U14	男子	7	2017/7/1 8:30-12:30	高森中学校(高森町)	
5	県	U14	男子	8	2017/8/5 8:30-12:30	小海中学校(小海町)	
6	県	U14	男子	9	2017/9/2 8:30-12:30	東北中学校(長野市)	
7	県	U14	男子	10	2017/10/7 8:30-12:30	東北中学校(長野市)	
8	県	U14	男子	11	2017/11/18 8:30-12:30	高森中学校(高森町)	
9	県	U14	男子	11	2017/11/25 8:30-16:30	未定	
11	県	U14	男子	12	2017/12/2 8:30-12:30	小海中学校(小海町)	
12	県	U14	男子	12	2017/12/10 8:30-12:30	未定	

## 4. スタッフの決定

コーチ・マネージャーを決定する。

- ① 総括マネージャー
- ② カテゴリーマネージャー
- ③ 単位ごとのコーチ

例：U12U14U16カテゴリーで4地区+県選抜（計5単位）に  
3名のコーチを配置した場合のコーチ数

3カテゴリー × 5単位 × 男女 × 3名 = 90名

## ■ 記入例

### 総括Staff

NO	Categ.	男子			女子		
		氏名	所属	Lice.	氏名	所属	Lice.
1	全体総括						
2	U11						
3	U12						
4	U13						
5	U14						
6	U16						

全体総括は1名、  
カテゴリー総括は  
男女兼任も可

### Coach

NO	Categ.	別	男子			氏名	所属	Lice.
			氏名	所属	Lice.			
1	U11	県	Main					
2			Sub					
3			Mana.					
4		北信	Main					
5			Sub					
6			Mana.					
7		東信	Main					
8			Sub					
9			Mana.					
10		中信	Main					
11			Sub					
12			Mana.					
13		南信	Main					
14			Sub					
15			Mana.					

## 5. 選手募集と選考

### ①選手募集

- 都道府県協会HPの案内
- 協力団体への告知
- 各チームへの告知

### ②選考

- ・ 各単位の適性人数は20名前後
  - ・ トライアウトを基準に選考
- ※選手の途中入れ替えも可とする。

## 6. 指導内容

### ①指導内容

JBA技術委員会より提示された内容を基準とする。

### ②コーチ研修会設定

指導者を対象に教育・研修を抱合せで実施すること

## 7. 経費と処理

### ①事業予算案の作成

- 事業規模の確認

カテゴリー、単位数、コーチ数等

- 経費基準の設定

JBAの定める「育成センター経費処理規程」に準ずる  
上限等を設ける場合は都道府県で基準を設けること

- 全体予算の作成

⇒ 都道府県協会全体として確認すること

## 7. 経費と処理

### ②事業遂行のための財源

- 選手からの適切な参加料徴収
- 補助金等（J S C 他）
- スポンサー収入
- 都道府県協会の負担
- Dファンドの活用



## 8. その他

### ①実施報告書

単位ごとに毎回、内容と参加選手を記した報告書を作成する

### ②参考として

2017年度にPBA-DCを実施した長野県DCの資料を参考に

■ PBA-DC参加選手の中からブロックDC,  
ナショナルDC推薦選手等が決定する。

- ①U11 ⇒ 次年度U12ブロックDC
- ②U12 ⇒ U12ブロックDC
- ③U13 ⇒ U13ブロックDC
- ④U14 ⇒ U14ナショナルDC
- ⑤U15 ⇒ U15ナショナルDC・国体・U16日本代表
- ⑥U16 ⇒ 国体少年・U16ブロックDC・U16日本代表

指導内容を学び  
指導実践を通して  
育成年代のコーチとしての  
指導技術の研鑽を積むこと

1. 若く、情熱のある指導者の指導実践の機会としてDCを活用
2. 総括等からの助言を受けるなど指導者を育てる環境を作る